

患者さんパンフレット

四国がんセンター
消化器内科



TACE〔肝動脈注入術（エピルビシン）、 肝動脈塞栓術〕を受けられる方へ

さまへ

主治医

受け持ち看護師

私たち医療スタッフは

- I 入院や治療に対する不安を軽減し、最良の状態で治療が受けられるようにお手伝いいたします

- II 治療後の苦痛を軽減し、合併症を起こさず順調に回復され安心して退院を迎えられるようお手伝いいたします



治療までに準備していただきたいこと

- 他の病院で処方され、現在使用している薬がある方は、入院時に必ずお持ちください（入院中は原則、他の病院の受診ができないため、入院期間を含め余裕をもってお持ちください）
- **お薬手帳をお持ちの方は、入院時に必ずお持ちください**
- サプリメントを飲んでいる方は必ずお申し出ください
- 爪は短く切り、マニキュア、ペディキュア、ジェルネイル、スカルプネイルをされている方は、入院前に落としておいてください
- まつげのエクステーションをされている方は、お知らせください

<以下のものは病院で貸し出し、購入もできます>

- ねまき
- 術衣（手術後用）、病衣
- バスタオル 1枚
- タオル
- ティッシュペーパー 1箱
- コップ、曲がるストローまたは吸い飲み

「CSセットのご案内」冊子を
参考にしてください

*病衣は普段よりひとサイズ大きいものを準備してください

※同意書がお手元にある方は忘れずお持ちください

「入院される方へ」の
パンフレットを
参考にしてください



医療品ショップ くろ〜ば〜

場所 2階 中央処置室前
時間 8:30~17:00
定休日 土・日・祝日・年末年始
電話 (089) 999-1129



ダイアリー

このパンフレットには、当院での標準的な治療や日常生活で注意していただきたいポイントなどを記載しています

また、よりよい状態で退院を迎えられるよう患者さんご自身の目標と医療スタッフの目標をあげています

入院は約1週間の予定です

治療後の回復は、個人差があり、体の状態によっては予定どおりにすすまないこともあります。その都度対応していきますので、ご安心ください

私たち医療スタッフは、これからの入院生活が不安なく送られるようにサポートさせていただきます





今日の目標

- ・入院生活、治療について医療スタッフの説明が理解できる
- ・わからないことは質問することができる

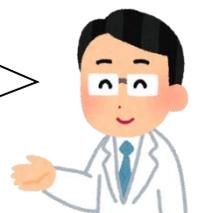
<時間>	<予定>	
11:00	入院	【入院後に以下のことを予定しています】 <ul style="list-style-type: none"> ・看護師から病院内、病棟内、入院生活の説明（テレビの病院案内も参考にしてください）
12:00	昼食	<ul style="list-style-type: none"> ・検温、血圧測定、身体測定 ・連絡先、既往歴、生活習慣などの聞き取り ・レントゲン撮影、心電図 ・医師より治療の説明があります ご家族の方も一緒に説明をお聞きください ・説明を聞いた後、納得し同意できれば同意書にサインをし、看護師にお渡しください ・わからないことやもう少し詳しく説明を聞きたいことなどがありましたら、遠慮なくお聞きください
18:00	夕食	<p><お薬></p> <ul style="list-style-type: none"> ・他の病院で処方された薬は、一度お預かりします 医師に確認後、続けるか、中止するかをお伝えします ・血液をさらさらにする薬は、いつから中止しているか 医療スタッフにお知らせください <p><食事></p> <ul style="list-style-type: none"> ・食物アレルギーのある方は医療スタッフにお知らせください ・特に制限はありません ・基礎疾患（糖尿病、高血圧等）がある方は、治療食となる場合があります
21:30	消灯	

MEMO

気になることや症状などを書き留めておきましょう

医療スタッフの目標

- ・入院生活や治療に対する不安がないよう支援します
- ・安心して入院生活を送られるよう支援します
- ・治療の準備をすすめられるように支援します





今日の目標

- 治療について医療スタッフの説明が理解できる
- 治療の準備をすすめることができる
- 不安な気持ちを医療スタッフに伝えることができる

<時間>	<予定>
6:00	起床 血液検査 尿検査 <活動> • 活動に制限はありません
7:30	朝食 <治療前の準備> • 必要時、毛そりをします • シャワー浴をしましょう
10:00	検温 血圧測定 • 必要物品の確認をします • 両足の甲の動脈にマジックで印をつけます
12:00	昼食 <お薬> • 治療当日に服用する薬がある場合は、看護師よりお知らせします • 眠れない場合は安定剤を服用することができます
18:00	夕食
21:30	消灯

MEMO

気になることや症状などを書き留めておきましょう

医療スタッフの目標

- 治療に対する不安がないよう支援します
- 治療の準備をすすめられるよう支援します





治療前の目標

- ・予定どおりに治療を受けることができる

<時間>

<予定>

6:00
7:00
7:30

起床
検温、血圧測定
朝食
朝食後の薬はいつもどおり服用してください
*糖尿病のお薬は中止です



10:00

検温、血圧測定

治療1時間前

右手から点滴を行います

治療30分前

洗面、歯磨き、トイレを済ませてください
お渡りする手術衣に着替えます
尿をとる管を入れます
安全に治療を行うために以下のものは全て外してください

	<input type="checkbox"/> 入れ歯		<input type="checkbox"/> 腕時計
	<input type="checkbox"/> コンタクトレンズ		<input type="checkbox"/> イヤリング・ピアス
	<input type="checkbox"/> 磁気製品・湿布		<input type="checkbox"/> ネックレス
	<input type="checkbox"/> かつら・ウィッグ		<input type="checkbox"/> 指輪
	<input type="checkbox"/> お化粧		<input type="checkbox"/> ブレスレット
	<input type="checkbox"/> つけまつげ		<input type="checkbox"/> ヘアピン
	<input type="checkbox"/> マニキュア		<input type="checkbox"/>

※眼鏡をかけて手術室に行く場合は、眼鏡ケースをご準備ください

治療15分前

痛み止めの注射をします
検温、血圧測定

治療5分前

看護師と一緒にベッドで2階の治療室へ移動します
治療中は、ご家族の方は必ず院内でお待ちください
（2階フロア・治療室前のソファなど）
※貴重品は、ご家族の方が保管してください

医療スタッフの目標

- ・予定どおりに治療が受けられるよう支援します





治療後の目標

- ・痛みや吐き気などの苦痛があれば、医療スタッフに知らせることができる
- ・安静を守ることができる

治療後は時間を決めて以下のことを行います

検温、血圧測定、状態観察

- ・帰室時、帰室後30分、1時間、2時間、4時間ごとに行います（これ以外も必要なときに測定します）

点滴

- ・治療の後は、1000mlの点滴が1本あります

食事

- ・治療4時間後から寝たままでも飲んだり食べたりできます
吐き気がなければ、帰室後から少量の水分はとることができます

お薬

- ・夕食後から通常どおり、内服してください（看護師がお手伝いします）

痛み

- ・痛みを我慢する必要はありません
- ・痛みが強い場合は痛み止めを使います

活動

- ・治療後2時間は、出血予防のために、カテーテルを入れた場所を砂のうで
圧迫します
カテーテルを入れた側の足の付け根を曲げることができません
足を曲げなければ横向きになれますが、起き上がることはできません
- ・翌日の回診までベッド上で過ごします
- ・カテーテルの太さにより、安静時間が異なります
詳しい時間については、医療スタッフからお知らせします

医療スタッフの目標

- ・治療後の合併症の早期発見に努めます
- ・床ずれの予防に努めます





今日の目標

- ・痛みなどの苦痛があれば、我慢せず医療スタッフに知らせることができる

<時間>	<予定>
6:00	起床 検温、血圧測定
7:30	朝食（治療前の食事に戻ります） 安静中の方は、回診後に食事をお持ちします 内服薬は、いつもどおり内服してください 血液をさらさらにする薬の内服開始時期はお伝えします
8:30頃	回診 医師の診察後、歩行することができます 病棟内での歩行の制限はありませんが、午前中はなるべくベッド上でゆっくり過ごしましょう
10:00	検温、血液検査 尿の管を抜きます 尿が出にくい場合はお知らせください 処置をした所の場所のガーゼを絆創膏に変えます 500mlの点滴が1本あります 体を拭いて着替えをしましょう
12:00	昼食
14:00	検温、血圧測定
18:00	夕食
19:00	検温、血圧測定
21:30	消灯

医療スタッフの目標

- ・合併症の早期発見に努めます
- ・不安や心配事がないよう支援します
- ・床ずれの予防に努めます





今日の目標

- ・痛みなどの苦痛なく過ごすことができる

<時間>	<予定>
6:00	起床 検温、血圧測定 活動に制限はありません
7:30	朝食
9:30	回診 処置をした所の絆創膏をはがします
10:00	検温、血圧測定 500mlの点滴が1本あります 尿が出にくい場合はお知らせください
12:00	昼食 シャワー浴ができます
14:00	検温、血圧測定
18:00	夕食
19:00	検温、血圧測定
21:30	消灯

わからないこと、心配なことが
ありましたら、遠慮なく
お尋ねください



MEMO

気になることや症状などを書き留めておきましょう

医療スタッフの目標

- ・合併症の早期発見に努めます
- ・不安や心配事がないよう支援します





今日の目標

- ・痛みなどの苦痛なく過ごすことができる

<時間>	<予定>
6:00	起床 活動に制限はありません
7:30	朝食
10:00	検温、血圧測定 ★治療6日目頃 血液検査
12:00	昼食
	入浴ができます
18:00	夕食
21:30	消灯

治療前の血液検査の結果で
治療後5日目以降に
栄養指導を行う場合があります
状況に応じてアミノ酵素薬剤の
内服薬も開始します

★退院前日
退院後の日常生活に
ついて説明します



MEMO

気になることや症状などを書き留めておきましょう

医療スタッフの目標

- ・合併症の早期発見に努めます
- ・退院後の日常生活に不安がないよう支援します



退院日 月 日



今日の目標
・退院できる

<時間>

<予定>

6:00

起床
検温、血圧測定

7:30

朝食

「入院診療費料金連絡票」を病室にお届けします
2階窓口でお支払終了後、病棟まで連絡票をお持ちください

お預かりしている薬、退院の薬がある場合はお渡しします
次回外来予約票をお渡しします

10:00

退院
退院前に忘れ物がないようご確認ください

次回外来受診は

月 日 () 時の予定です

* 外来受診時に検査のある場合は、事前に医師から説明があります

MEMO

気になることや症状などを書き留めておきましょう

医療スタッフの目標

・退院後の日常生活に不安がないよう支援します



退院後の日常生活について

●食事

栄養のバランスに気をつけましょう
原則的には食事の内容に制限はありませんが、
薄味を心がけましょう



●排泄

規則的な排便習慣をつけることが大切です
朝食後、トイレに行く習慣をつけましょう
軽い運動や水分をとるようにしましょう

便秘気味の方は、退院までに医療スタッフと対処方法について相談しておきましょう

緩下剤（便をゆるくする薬・押し出す薬）を処方することもできます

●活動

規則正しい生活をして、適度な運動をしましょう
まずは、軽い散歩や買い物から始めてみましょう
徐々に活動量を増やしていき、疲れないように調節しましょう
長時間の自転車やバイク・自動車の運転は、十分に気をつけ徐々に慣らしていきましょう

活動について迷うことがあれば、医療スタッフにご相談ください

●入浴

体を清潔に保つことが大切です
入浴は、特に制限はありません
今までどおりでかまいません



●仕事

重労働は、しばらく避けるようにしましょう

これから先、安心して働き続けるためには、体の状態に合わせた休み方や働き方が必要になることもあります

病院では、患者さんの「働きたい！」をサポートしています

私たちと一緒に考えていきましょう



【相談窓口】

がん相談支援センター相談員

・医療ソーシャルワーカー、看護師

<出張相談>

・ハローワーク松山就職支援ナビゲーター

・両立支援促進員（社会保険労務士）

ご相談は、がん相談支援センターへお問い合わせください

●お薬

薬の処方がある方は、医師の指示どおりに服用してください

他の病院の薬を服用する場合は、医師に相談してください



●その他

定期受診は必ず受けるようにしましょう

MEMO

気になることや症状などを書き留めておきましょう



- 38.0℃以上の熱が出たとき
- 37.5℃以上の熱が3日以上続くとき

上記のような症状がある場合やその他ご心配なことがある場合は、
がん相談支援センターにご連絡ください

◆四国がんセンターの連絡先◆

【平日】 8:30~17:15
四国がんセンター がん相談支援センター
(直通番号) 089-999-1114

【平日上記時間外および土・日・祝日】
日直/夜間当直師長
(代表番号) 089-999-1111

* 外来受診日や検査予約日の変更については、
予約センターにご連絡ください

【平日】 8:30~17:15
(直通番号) 089-999-1112



TACE〔肝動脈注入術（エピルビシン）、肝動脈塞栓術〕を受けられる方へ